

平成 27 年度

船橋市予算に対する要望書

船橋市議会

自由民主党・無所属の会

平成 26 年 12 月 26 日

船橋市長 松戸 徹 様

自由民主党・無所属の会

平成 27 年度予算編成に関する要望

謹啓 貴職ますますご隆昌の段 大慶至極に存じ上げます。

平素は市政の発展にご尽力を賜り誠にありがたく御礼を申し上げますとともに敬意を表します。

さて貴職におかれましては、予算編成にあたりご多忙とは存じますが、会派として下記の通り要望いたしますので、ご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また本年は瑣末、些細な不祥事の続発がまったく止みません。それはすべてトップの責任であるという認識をしっかりともち、対応されるよう望みます。

不祥事が他人事、人のせい、システムのせいなど自己の責任を意識できない無責任体質が庁内全体に蔓延している実態を一刻も早く解消するよう強く望みます。

謹白

総務費

要望事項

- (1) 行財政運営を再点検し、事務事業の見直し作業を行うこととし、必要に応じて外部の有力シンクタンクやコンサルティング会社に委託することとし、その予算。
- (2) JR 京葉線南船橋駅前開発計画の早期着手のための予算。企画立案ができないのであれば、外部の有力シンクタンクやコンサルティング会社に委託することとし、その予算。
- (3) 人材育成費の大幅増額。
- (4) 今後の事務事業のあり方を丁寧に検討し、市民本位のサービス体制の構築を図ることを望みます。そのための企画立案ができないのであれば、外部の有力シンクタンクやコンサルティング会社に委託することとし、その予算。
- (5) 行田所在の国家公務員宿舎船橋行田住宅の買収及び利用
- (6) 二和所在の国家公務員宿舎の買収及び利用

要望理由

- (1) 行財政運営の緩さは前代未聞の状態であると認識しています。財政秩序維持をきちんとできる体制整備をし、将来の財政需要に耐え得るものを構築することを望みます。また、使用料、手数料をはじめ国民健康保険料など「政治マター」と忖度することなど無く適正なものとするのを望みます。
- (2) 船橋市の今後のランドマークにもなり得るポテンシャルのある地域をより近代的な都市機能を備えるためにも、大局的な視点に立っての計画を望みます。背伸びをせずに、無理せず、見栄を張らずできないものはできないと、素直に外部に頼る度量を求めます。
- (3) 直接的な人材育成費はもとより、専門書等の購入費、先進市視察費など声に出せない職員が数多くいます。無駄な使用は当然控えるべきですが、萎縮させずに、堂々と専門分野の勉強をしやすい環境整備を望みます。
- (4) 大局的な視点に立って「市民の立場」の再考と計画を望みます。背伸びをせずに、無理せず、見栄を張らずわからないものはわからないと、素直に外部に頼る度量を求めます。
- (5) 船橋市において土地の価値がわからなような状況であれば、業界団体などにその価値をしっかりと見極めてもらい、効率的な行政運営、中長期的に思考

できる力をつけ、しっかりと購入意思決定をお願いします。

(6) 同上並びに駅前広場、二和児童ホーム、二和出張所、老人憩い家、地区社協等の合築を望みます。

民生費

要望事項

- (1) 児童相談所の設置可否のための調査費。
- (2) 私立保育所予算見直し、増額。
- (3) 24地区コミュニティにおいて、児童ホーム未設置地域(二和、坪井地区等)に整備をする予算。
- (4) 介護保険事業のうち市単事業の拡充をしない。
- (5) アンデルセン公園の入園料を子育て中の家庭本位に見直す。
- (6) 私立幼・保育園へのAED無償配布。

要望理由

- (1) 早期の結論を望みます。
- (2) 国の考える保育行政を理解できないのであれば組織自体を大きく見直し、事業遂行能力のある体制の構築を抜本的に望みます。その後、必要なものに必要な予算をつけるという当たり前のことをしていただくよう強く望みます。
- (3) 迷走を続ける地域における子育て支援の実態を踏まえ、各種整理を行い、乳幼児子育て世帯の保護者等を「小」子育て支援センター的な目的で受け入れたり、相談機能を持つなど、きめ細かい子育て支援体制の確立を望みます。特に要望の強い二和地区や坪井地区など過去の陳情採択なども含めご配慮を願います。
- (4) 「切る発想」を持つことを切に望みます。
- (5) 市民の入園料の再構築を望みます。議会においての提案を参考にさせていただきたい。
- (6) 市民の安心安全のために。

衛生費

要望事項

- (1) 市内医療機関の看護師確保対策を進めるための予算。

- (2) 医療センター将来計画立案のための予算。
- (3) 斎場の整備 (四市複合事務組合)
- (4) 新エネ、省エネ設備設置費の補助の市単独補助の増額
- (5) ごみ減量のための週二回収集の実施

要望理由

(1) 市立医療センターはもとより、船橋市内の医療機関が適正数の看護師を確保できていることが医療の充実に直結します。市内全体での適正数確保という課題を常にもち続け、在宅医療中心時代にきちんと対応できる体制整備が地域包括ケアシステムの構築作業の基幹部分であると認識しております。地域包括ケアシステムを多角的、多面的に考察を加え、専門的に事業推進体制整備をすることを望みます。

(2) 市立医療センターの次世代フェーズを丁寧に構築していき、無駄、無理の無い建替え計画を目指し、作業着手を望みます。

(3) 早期の解決を望みます。

(4) 新エネ、省エネ先進市になるよう研究を積極的に進め、全国に先駆ける意識で取り組み願います。

(5) ごみ減量化のため、様々な努力を望みます。また、様々な実証実験を繰り返し、より確実な施策の構築を望みます。

商工費

要望事項

(1) 観光行政強化のための予算。当事者能力が無いのであれば、外部の有力シンクタンクやコンサルティング会社に委託することとし、その予算。

(2) 水産業

- ・ 青潮対策費の増額と具体策
- ・ 漁場整備費の増額

(3) 高齢者の買い物援助制度の拡充と具体策

要望理由

(1) 船橋市出身の著名人 (芸能人、スポーツ選手、作家などメディア発信力のある人) の観光大使制度や駅前観光案内所の設置など目に見える観光行政を

推進するためのツールを増加させていくことが肝要であると考えております。藤代前市長をはじめ多くの方々がおしゃっている一千万人を超える来船者がいるにもかかわらず活かしきれていないのが現状であります。更には、外国人訪日客（インバウンド客）が、立ち寄りやすい環境にも関わらず取り込めていないことは大きな問題であります。総合的に観光客誘致（日本人、外国人）を考える様に望みます。庁内で発想できないようであれば遠慮なく外部の力に頼るべきだと思います。

（２）青潮対策の高度研究並びに抜本対策の構築を本格的に進めることを望みます。計画的な漁場整備並びに中長期的な展望を丁寧に行うことを望みます。

（３）高齢者の買い物援助制度の調査研究を徹底的に行い、より効果のある事業を望みます。

土木費

要望事項

- （１）雨水整備計画を含む公共下水道整備、河川整備の更なる推進予算。
- （２）道路、歩道、公園の各整備の拡大のための予算。

要望理由

（１）昨今のゲリラ豪雨、ウルトラ豪雨、超ウルトラ豪雨などの情勢分析をはじめ今後の雨水対策のあり方を丁寧に検討することを望みます。

（２）道路、歩道、公園の各整備はインフラ整備と言っても過言ではありません。特定市民対象の福祉施策の充実と全市民対象のインフラ整備のバランスをきちんと考えることを望みます。考えられないのであれば外部の有力シンクタンクやコンサルティング会社に委託することを望みます。

消防費

要望事項

- （１）船橋市消防訓練所設置のための予算。（可能であれば市民の防災学習施設併設 例：東京消防庁防災館）
- （２）古和釜、松ヶ丘地区に消防分署の設置。
- （３）消防局庁舎の早期建替えのための調査費。

要望理由

(1) 現在、消防隊の訓練は、各消防署毎に小隊訓練は行われているものの、大規模な災害に対応する複数部隊で実施する連携訓練の場がないことから、立体的訓練が行える高層の訓練塔、複数の車両が同時に連携しての実際の災害に即した部隊活動訓練や特殊災害活動訓練、火災防ぎょ訓練など、知識・技術・連携の修得が行える訓練施設の整備が必要です。

(2) 消防力の整備指針に基づく消防署所の整備計画では、市内に17署所を整備する目標を定めていますが、現在13署所となっております。

署所が未整備となっている4ヶ所のうち、「松が丘・古和釜町地区」については、松が丘地区が住宅密集地であり、隣接する坪井地区の人口増加も見込まれていることから、当該地区に消防署所を整備する必要があります。

(3) 現消防局庁舎は建築後40年を経過しており、各設備の老朽化が著しく、大規模災害発生時は災害時の活動拠点としての機能を失い、消防活動に支障を期たすおそれがあります。

また、運用車両の増加や大型化に伴い、車庫等が手狭となっておりますので、早急な建て替えを要望するものであります。

教育費

要望事項

- (1) 私立幼稚園就園児補助金の増額。
- (2) 私立幼稚園各種補助金の見直し、増額。
- (3) 全中学校への図書事務の配置。
- (4) 養護教諭複数配置の小学校に二人の図書事務配置。
- (5) 図書事務の研修機会の増加の予算措置。
- (6) 市単独の教職員研修制度の創設及び大幅予算措置。
- (7) 全中学校に武道場の設置。
- (8) 全中学校の部活動に陸上部、剣道部、柔道部の必置と予算処置。
- (9) 中学校部活動への外部コーチ及び指導者導入の予算措置。
- (10) 中学校英語教師の英語公用語国への夏休み一ヶ月研修の措置
- (11) 少年少女交歓大会、津別町青少年交流の廃止（民間で）

(1 2) 図書館運営の民営化

(1 4) 楽器貸出事業において、ハーブなどの導入実績のない楽器の新規購入

要望理由

(1)(2) 私立幼稚園関連予算は、各保育所関係予算に比較して少額となっております。設置関係法令に相違があり、一概に比較検討すべきものではありません。しかし一方で市民の側から考えたときには、「同じ子育てをする立場にありながら、自らの手もとで子育てをする保護者への公費投入が極端に少ない。」という実態があります。世帯収入等で裕福な家庭であるということではなく、子育てへの責任感から時間的余裕が無く、未就労で子育てをする母親が幼稚園への通園をさせているケースが多数を占めている実態を鑑みた時、その「公」に頼らない保護者に対してのインセンティブとして、保護者負担軽減のための措置を望むものです。

(3)(4) 図書事務中学校配置と養護教諭二名配置の小学校への図書事務二名配置について。

図書事務は、中学校の配置がなく、小学校の図書事務を週二度程度中学校へ派遣して、図書事務を執らせています。これでは、小学校図書事務は滞り、中学校図書事務は捗りません。養護教諭二名配置校にはそれだけの必要があるからで、図書事務もこれと同様の必要性があります。国語教育及び生涯学習へと発展する一番大事な事項でありますので是非とも要望します。

(5) 臨時の図書館事務の能力向上を図り、図書室運営をより活性化するためです。

(6) 船橋市の教育の優位性を担保するのは教員の質の向上です。そのためには、市単独でよりきめ細かな研修制度を確立することと教員のモチベーション確保のためのインセンティブ的な研修制度を設けることにあります。より優秀な新卒採用者を確保するためにも研修生の充実は不可欠です。

(7) 教育基本法改正により、学習指導要領の体育科に武道の必修が義務づけられました。この点をふまえ、一部中学校に設置されている武道場を未設置の中学校に設置されるよう要望いたします。

(8) 柔道部、剣道部の部活動未開設の中学校に開設を要望するのは、学習指導要領に義務づけられた武道必修をより深化、発展させる必要があると考えるからであります。

陸上部未開設の中学校に開設を要望するのは、陸上競技は、全運動の基礎で運動の原初形態を有するからです。走る、跳ぶ、投げるは古代オリンピック以来近代オリンピックまで普遍の競技であります。選手養成の目的だけからではなく、中学生基礎体力の養成の点からも各中学校の開設を要望いたします。

(9) 教員の負担軽減が第一ですが、中学生の時分には、運動能力も向上し、この時期に素人の顧問に教わるより教員ではないが、専門家のコーチを受けるのが生徒にとり有益であり競技力も上がると思われるからです。

(10) 前掲(6)と同様趣旨の理由です。

(11) 長期間行っている事業は、各種検証をしっかりとて、再構築を望みます。

(12) 図書館運営の効率化、近代化、公平、公正化を望みます。

(13) 長年にわたり顕著な成績を収めている市内学校現場における音楽活動のさらなる発展と保護者の金銭的負担を軽減するために早急の導入を求めます。

その他

当初予算に関する、会派所属議員の地元要望に関しましては、秘書課長に別途口頭で申し入れることといたしますので、本件同様の取扱にてお願い申し上げます。(できないことは、きちんとご説明いただければ結構です。)